

全国へ発信
223

幼保小中一貫教育プロジェクト

ほくぶ幼稚園では、今

ほくぶ幼稚園では、子どもたちが教師や友達と一緒に遊び、生活する中で、豊かな心の根っこを育てることを大切にしています。今回は、6月に行った図書ボランティアの活動と親子学級、7月の夕べのつどいについて紹介します。

図書ボランティア(読み聞かせ・メルヘンシアター)

絵本好きの子どもたちのために月1回、保護者の有志が絵本の読み聞かせをしています。また、紙芝居や人形劇などを行うメルヘンシアターも、遊戯室と玄関ホールの2カ所で開催しています。どちらの催しも子どもたちは、とても楽しみにしています。



親子学級

親子学級として、6月3日に家族でウォークラリーを楽しみました。風が気持ちよく吹き抜ける自然の中、親子で植物や生き物を探しながら歩いたり、ゲームをしたりしながらチェックポイントを回ったりしました。子どもたちは、シールをためたカードを手に、家族や友達とうれしそうにゴールしていました。

夕べのつどい

1学期最大の行事「夕べのつどい(夏祭り)」が7月7日に行われました。お店屋さんでは、店員になりきり、自分の役割を果たそうと頑張った子どもたち。その後の盆踊りとPTAによる打ち上げ花火を楽しんだ後には、行事を支えてくれた保護者や地域の方に対して「ありがとうございました」と、感謝の気持ちを伝えました。夜の幼稚園での活動は、子どもたちの素敵な思い出となりました。

子どもたちは日々の遊びや行事の中で、友達と考えを伝え合い力を合わせる難しさ、何日もかけて工夫して作り上げていく楽しさ、誰かに喜んでもらえるうれしさなど、たくさんのことを学びます。今年も「夕べのつどい」を通して、子どもたちの心はまた一つ豊かになりました。

